

総務広報委員会 事業計画

総務広報委員会 委員長 土子 仁志

私たちの情熱を意義あるものとして具体的に地域を変えていくなれば、自己満足とならぬよう多くの人々に理解してもらいながら行動することで、地域に最も頼られ必要とされる団体として存在価値を高めなければなりません。メンバー一人ひとりが「やるべきことを、適時適切に、全力でやる」という意識を持ち互いに研鑽し合い、組織力の向上と共に我々の存在意義を伝播する事で、地域の信頼に応える組織へと進化する事を目的とします。

まずは、各委員会がスムーズに過去の事業の検証や委員会運営を行っていただける為に、各事業の担当者から個々に出された資料、上程スケジュールや過去数年の議案書を取り纏め、年間予定スケジュールと共にデジタル管理し、メンバー全員が共有出来るシステムを構築します。そして、理事会等の上程議案に関しては、事前配信を確実にを行い、議論の質を高めつつスムーズな会議の進行を図ります。さらに、我々の運動を多くの市民に理解していただく為に、広報の窓口となりマスコミとの関係を密にすることで迅速かつ積極的な運動の発信をします。また、各事業の内容がわかる資料や写真などを精査して定期的な広報物を配信する事で、対外への運動発信のみに留まらずメンバーのモチベーションも上がり事業の質も向上し、より地域での水戸青年会議所の存在価値を高めていきます。そして、60周年を迎えるにあたり、各時代を築き上げてきた先輩方から脈々と引き継がれてきた組織のあり方を充分理解した上で、厳粛な総会の運営や設えを行います。さらに、強い発信によって我々の事業や運動に共感し行動する仲間を増やすことで会員拡大へと繋がります。

我々の運動や事業を対外へ向けて発信し伝播させると共に、LOM内外における様々な繋がりを紡ぎ合わせる潤滑油となり、組織連携を強化し強い組織を構築する事で良い連鎖を誘発させ「正のスパイラル」を起し地域に頼られる存在価値の高い組織へと進化します。

「事業計画」

1. 議案及び上程スケジュールの管理
2. 外部広報の窓口
3. 定期広報物の発行
4. 理事会・総会の運営
5. 会員拡大
6. 出向者支援及び各種大会への参加__